

事業者向け 放課後等デイサービス評価表

令和 7年 1月現在

指定放課後等デイサービス びーと海田教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			保護者会で議題にあげるなどしてニーズを把握できるようにしている。また、いただいたご意見を活動や日々の療育の内容に反映している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			事例検討会や虐待防止研修等の研修を月に1回以上は行っている。
適切な支援の場	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			支援員でのモニタリング会議、保護者とのモニタリング面談を行い、ニーズを反映させて計画書を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			活動内容は支援員全体で意見を出して計画を立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	7			随時新しい活動を考えてプログラムを立てている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			長期休暇、休日には、公共施設などに出向き、公共のルールを守り行動する等の課題を設定して支援を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			発達支援の内容は集団活動、個別活動踏まえた上で計画書を作成している。

児 供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			朝礼を行い、利用者について、活動内容について打ち合わせをして支援を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			支援終了後記録を書きながらその日にあったことや活動内容について話し合いをして次につなげている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			記録した内容を話し合い、日々の療育内容の改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			支援員でのモニタリング会議を開き、計画書の見直しの必要性を判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7			行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			相談支援専門員が主体となり、関係機関の担当者が集まり会議を行っている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			送迎時や担当者会議時などに日々の利用者の様子や下校時刻等を情報交換している。 また学校と連携し、授業の様子を視察するなど連携を図っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	2		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	3		利用開始前に必要であれば連携を取り、資料をいただいたり、会議を開いて情報を共有している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			発達検査結果などをいただいて、不明な点等あれば連絡し、随時助言をいただいている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	1	1	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	3		参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			送迎時や連絡を通して日々の様子や状況について情報共有を図っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7			専門支援員が中心となりプログラムを立ててペアレント・トレーニングを行っている。

保護者への説明責任等	⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			利用契約時に管理者または児童発達支援管理責任者が説明を行っている。
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			送迎時から保護者と会話する機会を大切にし、相談があれば助言や支援を行っている。
	⑫	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	1		保護者会を開催し、保護者同士での情報・意見交換をする場を設けている。
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			苦情・クレーム対応について体制を整備しており、迅速に対応している。
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			会報誌を定期的に発行し、SNSでは日々の活動内容について発信している。
	⑮	個人情報に十分に注意しているか	7			
	⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6		1	地域自治会の行事に参加し地域住民との交流を図っている。
非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7			年間2回以上避難訓練を行っている。
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			虐待防止委員会を設置し、年間2回以上虐待防止研修を行っている。
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			契約時等に保護者様には十分に説明をして了解を得ている。また、身体拘束についての研修を年間2回以上行っている。
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			事業所内で会議を開き共有している。